

膵癌家族歴保有者における膵疾患の発生頻度および長期予後に関する研究

1. 研究の対象

当院倫理審査委員会にて承認された“膵癌家族歴保有者における膵嚢胞、膵管拡張の発生頻度に関する研究”に基づき、2009年4月1日より2013年3月31日までに文書での同意が得られた、膵癌罹患者の2親等以内の血縁者および配偶者を含むご家族の方々

2. 研究目的・方法

1. 目的

膵癌家族歴は膵癌のリスクファクターの一つであることが知られています。膵癌診療ガイドライン2019では、膵癌患者で家族歴に膵癌がある割合は3-8.7%と報告されています。また第一度近親者の膵癌患者1人：4.5倍、2人：6.4倍、3人以上：32倍と高くなることが報告されていますが、いまだ家族歴・配偶者の膵がんリスクについての報告は少ないのが現状です。当院倫理審査委員会に承認された“膵癌家族歴保有者における膵嚢胞、膵管拡張の発生頻度に関する研究”に基づき、2009年4月1日より2013年3月31日までに文書での同意が得られた、膵癌罹患者の2親等以内の血縁者および配偶者を含む家族を対象に主膵管拡張・膵嚢胞などの発症頻度を明らかにすること、長期経過のフォローに基づき膵嚢胞・膵管拡張等の膵疾患の発症頻度、そのリスク因子、生命予後などを明らかにすることを目的として研究を行います。

研究期間は倫理審査委員会承認後から2025年10月までの5年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究の対象となる方の背景（年齢、性別、家族歴、既往歴など）、膵精密超音波検査等の画像所見、膵嚢胞・膵管拡張等の膵疾患発生頻度、臨床経過・検査結果等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 膵検診室

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 池澤 賢治

-----以上